

平成25年第1回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成25年第1回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議 員 名	会派名
2 月 26 日	1	中 村 彰 男	誠 和 会
	2	青 野 直	流 政 会
	3	中 川 弘	誠 和 会
	4	酒 井 睦 夫	みんな・一新
	5	阿 部 治 正	
2 月 27 日	6	西 川 誠 之	みんな・一新
	7	加 藤 啓 子	みんな・一新
	8	植 田 和 子	日 本 共 産 党
	9	乾 紳一郎	日 本 共 産 党
	10	小田桐 仙	日 本 共 産 党
2 月 28 日	11	徳増 記代子	日 本 共 産 党
	12	笠 原 久 恵	流 政 会
	13	楠 山 栄 子	
	14	森 亮 二	流 政 会
	15	斉 藤 真 理	公 明 党
3 月 1 日	16	田 中 人 実	公 明 党

質問事項	要 旨
<p>1 (仮称)新流山橋建設の進捗状況について</p>	<p>(1)環境に十分配慮された最新の高架道路計画について問う。 ア どのように基本設計に反映させるのか。</p> <p>(2)和田堀の排水計画について問う。 ア 事業が終了するまでの間の排水計画は、どのように考えているのか。</p>
<p>2 (仮称)新市街地地区小中学校併設校建設について</p>	<p>(1)UR都市機構への一括発注について問う。 ア 小中学校併設校建設に向けて、UR都市機構に設計・施工・用地取得、更には、資金借入を丸投げで発注する最大のメリットは何か。</p> <p>(2)本市の発注形態について問う。 ア 本市の発注は公正な競争入札により、切り詰めた予算によって1円まで活かす施策が展開されている中で、競争機能を排除したUR都市機構への一括発注は前例のないものとする。いつ、どのようにして決定されたのか、また、財政的なメリットは何か問う。</p> <p>(3)本市の業務発注形態について問う。 ア 総合体育館建替事業では、「UR都市機構との基本協定を見直し、委託費削減と市内業者参入を考慮するものとして、市が直接工事を発注する形態に改める」と示され、結果的に市において十分対応できる証と考えられる。学校建設事業でも丸投げの形態を見直すべきではないか。</p> <p>(4)既存小学校との施設格差について問う。 ア 既存小学校と小中学校併設校とでは、施設はもとより設備・運営・教育課程の先進的なプログラムは、さまざまな面で格差が生じるものと懸念する。市長が求める先進的な環境や取り組み、教育プログラムの創設は、流山セントラルパーク駅前で見現化に向けて努められている事案と併せて、民間活力、即ち、私立校誘致を積極的に行うことで可能と考えるが、当局の見解を問う。</p> <p>(5)小中学校併設校建設予算額について問う。 ア 小中学校併設校建設予算は、本市の予算規模を考慮すれば必然的に無理難題と考えるが、なぜ、129億円以上の建設資金が必要なのか。また、国の補助金の有無ではなく、市負担額は教育予算の圧迫に繋がると考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
1 教育行政について	<p>(1) 本市の学校教育は、小中一貫教育の推進をはじめ、家庭、地域、関係機関との連携を強化した児童生徒の指導体制の充実、特別支援教育、不登校やいじめ問題への取り組み、さらには、教育施設の整備充実、教職員としての使命感や専門性を高める研修等に取り組んでいると思うが、平成25年度の教育方針について問う。</p> <p>(2) 生涯学習については、いつでも、どこでも誰もができる生涯学習を目指し、生涯学習推進基盤整備等をはじめ、次代を担う青少年を育てる地域環境づくり、市民文化の継承と醸成、スポーツ活動の基盤づくりに取り組んでいると思うが、平成25年度の方針について問う。</p>
2 会計事務について	<p>(1) 日々の支払い準備金としての歳計現金等及び基金に属する現金・有価証券及び担保物件の保管、運用の適正化について問う。</p>
3 南部地域の諸課題について	<p>(1) 流山本町界限のさらなる活性化に向けて、地域の交通安全問題の解決をはじめ、名所旧跡（加村加岸、流山河岸、天晴、万上白みりん発祥の地、千葉県近代教育発祥の地等々）の活用やPR、さらに地元住民のおもてなしの心の醸成が必要と考えるが、今後の方針について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 債務負担行為のあり方について問う</p>	<p>(1) 自治体の隠れた借金とも言われる債務負担行為であるが、財政運営健全化の見地からもその残高の推移について議会としてのチェックが必要と考える。債務負担行為につき以下の点について問う。</p> <p>ア 平成24年度末時点で設定されている債務負担行為のうち、その当初設定額が1億円を超えるものはいくつあるか。</p> <p>イ 1億円を超えるもののうち、指定管理事業などのように個別の議会議決が必要なものは何件あるか。</p> <p>ウ それらの委託先の選定方法はようになっていたか。</p>
<p>2 マーケティング課が実施するイベントについて問う</p>	<p>(1) 市長の肝いりで当市のPRを主な業務として流山おおたかの森において多くのイベントを開催しているが、市民まつりや花火大会との対比でその費用対効果を検証すべきと考える。マーケティング課の行うイベントにつき以下の点について問う。</p> <p>ア 平成20年度との比較で平成23年度は約3倍以上の2100万円の経費を投入したにもかかわらず動員数は1.3倍にしかならない点をどう考えるか。</p> <p>イ イベント参加者のうち、流山市民以外の参加者をどのように把握しているのか。</p> <p>ウ イベントが流山を知るきっかけとなり、この1年で当市へ転入した人の数をどのように把握しているか。</p>
<p>3 小山小学校建設にかかわるこれまでの経緯と今後について問う</p>	<p>(1) 新市街地地区で移転建設した小山小学校が、その建設から僅か3年で仮設校舎の建設に至ったことは、建設計画そのものに大きな問題があったと言わざるを得ない。新たな小中学校併設校の建設が計画されている今、その問題点を検証し今後活かすべきと考える。よって、以下の点について問う。</p> <p>ア 計画当初、1学年3学級、全体で18学級で足りるとした根拠は何か。</p> <p>イ その設計においてより広い用地を要する、低層型の校舎とした根拠は何か。</p> <p>ウ 流山おおたかの森駅周辺へのマンションの建設が相次ぐ等の状況があったにも関わらず、本年度になるまで対策を放置したのはなぜか。</p>

質問事項	要 旨
1 農業政策について	<p>(1) 「新鮮食味」対策について ア 発足から1年経過したが、どう総括しているのか。 イ 今後どう改善を図るのか。</p> <p>(2) 農業生産法人について ア 平成25年の重点施策に「農業生産法人設立支援事業」とあるが具体的には何をするのか。 イ 現在設立準備中の事案があるが、行政としてどのような助成を考えているのか。</p> <p>(3) 新川耕地対策について ア 平成19年に新川耕地対策の「報告書」が出されたが、その後進展はあったのか。 イ 既に西深井で農業の実績のある企業をサポートして一步一步大規模化していくことが現実的と思われるが、市としてどのようなサポートができるのか。</p>
2 市営霊園について	<p>(1) 東京都は「審議会の答申」を受け、既存の都立霊園を活用し、「樹林墓地」を完成させた。本市でも導入する考えはないのか。</p> <p>(2) 地方出身者で墓を持たない人を中心に安価な墓地を望む声が多くなっている。多くの自治体では公営の霊園墓地を提供しており市営霊園の設置について本市の見解を問う。</p>
3 職員の提案制度について	<p>(1) 職員の「提案制度」は、組織の中でどのように機能しているのか。</p> <p>(2) 現場を知っている職員から下記の提案をさせ、公開で発表会を行うとともに、優秀発表者を表彰してはどうか。 ア 「市民サービス向上」のために何をすべきか。 イ 「行政コスト削減」及び「増収」のために何をすべきか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 (株) 関東実技の民事再生手続きと流山市の債権について問う</p>	<p>(1) 民事再生手続きは、経済的苦境にある債務者の事業の再生を図ること等を目的としており、債権者も事業の再生への協力を求められる。このことと、債権の回収の必要性とのジレンマについてどう考えるか。</p> <p>(2) 当局は「現在訴訟を起こしている裁判の訴額である4,988万5,108円について、債権の届け出を東京地方裁判所に行く」と主張しているが、流山市が債権者として認められる見通しについて問う。</p> <p>(3) 当局は「民事再生手続き開始の対応と並行して、履行保証保険に基づく保険会社への請求を行う」と主張しているが、この請求が認められる見通しについて問う。</p>
<p>2 流山市における総合評価入札制度について問う</p>	<p>(1) 総合評価の評価項目及び評価点を定める際の判断基準はどのようなものか。</p> <p>(2) 委託事業者の下で働く者への「公正労働基準」を始め、「環境への配慮」「障害者の法定雇用率」「男女平等参画の取り組み」等を考慮する必要があると考えるがどうか。</p>
<p>3 流山市における放射能汚染対策について</p>	<p>(1) 福島県の県民健康管理調査において子どもの甲状腺ガンが高い率で発生した事実についてどう考えるか。</p> <p>(2) 取手市の学校健康診断のデータによって、福島原発事故の後、小中学生の心臓疾患が急増したことが明らかにされた事実についてどう考えるか。</p> <p>(3) 放射線量が取手市とほぼ同じである流山市においても、学校健診データに基づく子どもの心臓疾患の調査と分析を行うべきと考えるがどうか。</p>
<p>4 国と自治体による子どもの健康調査事業について問う</p>	<p>(1) 流山市は国に対して「原発事故子ども・被災者支援法」の地域指定を求める働きかけをさらに強めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 「原発事故子ども・被災者支援法」の地域指定を求める働きかけと並行して、流山市独自の健康調査事業を行うべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 本市の憲法と位置付けられている「自治基本条例」の遵守について市長に問う</p>	<p>(1)自治基本条例第23条第5項はどのようなケースを想定しているのか。</p> <p>(2)(仮称)新市街地地区小中学校併設校の建設事業は第23条第5項が適用されるが、対応が不十分ではないか。</p> <p>(3)パブリックコメントに寄せられた74名の地域別の分析はどのようになっているのか。</p> <p>(4)第23条第5項は、「住民投票などの多様な方法によって」と明記されているが、住民投票に代る方法として、幅広く市民の意見を求める「無作為抽出型アンケート」や「無作為抽出型市民会議」を実施してはどうか。</p> <p>(5)制定後4年経過するが、「自治基本条例」の見直しは検討しているのか。</p>
<p>2 「投票率向上」の取り組みについて</p>	<p>(1)市長・市議会議員選挙共に50%すれすれの投票率で推移しているが、この現状(平成23年時は史上最低を記録)について見解を問う。</p> <p>(2)次回の市長・市議会議員選挙には、投票率向上のため、投票率60%以上を達成するとの目標を掲げ、対応を考えるべきと思うがどうか。</p> <p>(3)将来、選挙権をもつことになる小中学生対象の啓発活動は検討しているのか。</p> <p>(4)成人式での啓発活動は実施していると思うが、その効果についてはどう評価しているのか。</p> <p>(5)毎回投票者数が増えてきている「期日前投票所」を拡充する予定はないのか。</p> <p>(6)近隣市と連携し、駅などで「期日前投票所」を設置する考えはないのか。</p> <p>(7)「選挙公報」の改善は検討しているのか。</p> <p>(8)「公設掲示板」の設置場所の再検討はしているのか。もっと、大勢の市民が利用する場所に見やすい掲示板を設置することはできないのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市における男女共同参画の推進について</p>	<p>(1) 女性職員の管理職への登用率及び登用率向上のための施策について問う。 (2) 男性職員の育児休業及び介護休業取得率について問う。 (3) 審議会委員及び自治会長に占める女性の割合について問う。 (4) 市内における25歳から44歳までの女性の就業率について問う。 (5) 初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合について問う。 (6) 流山市第2次男女共同参画プランの現在までの成果と検証について問う。</p>
<p>2 職員の給与と人事評価制度について</p>	<p>(1) 今回の退職手当を減額する法律による流山市の対応について問う。 (2) 全職員に行った人事評価についての結果検証について問う。 (3) 給与に反映する人事評価制度の構築について問う。</p>
<p>3 「学ぶ子にこたえる、流山市。」の教育の特色について</p>	<p>(1) 体罰やいじめ問題の実態調査について問う。 (2) 市内小中学生の塾及び習い事の通塾状況について問う。 (3) 中学生における職業体験内容について問う。 (4) 国際社会に通用する子どもたちの育成について問う。 (5) 個性を伸ばす教育について問う。 (6) 教育コーチングの導入の可能性について問う。</p>
<p>4 市内全体のバランスのとれた施策について</p>	<p>(1) 市内全体における各地域のインフラ環境整備状況について問う。 (2) 子育て施策と高齢者施策の税金配分状況について問う。 (3) 事業スケジュールの見える化について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 デフレ脱却と市内産業活性化、雇用拡大について</p>	<p>(1) 国の緊急経済対策を傍観することなく、市として独自の経済対策を講じるべきだと思うがどうか。</p> <p>(2) 市の産業活性化施策のために、市内の「経営資源」「産業構造」などの全面的な把握、新たな施策確立の探求などについて問う。</p> <p>(3) 住宅リフォーム助成制度について問う。</p> <p>(4) 市内公共施設、橋、道路などの老朽化に対する維持・補修対策について問う。</p>
<p>2 公共交通網の確保・整備について</p>	<p>(1) 「ぐりーんバス」の目的を抜本的に改めることについて問う。</p> <p>(2) 高齢社会に対応した「住みよい都市」の基本的条件について問う。</p>
<p>3 住みよい流山市づくりに向けて、自治体職員の役割について</p>	<p>(1) 政府の「自治体職員の賃金引き下げ」要請をどう考えるのか。</p> <p>(2) 人口増、高齢者増に対応した市の職員体制について問う。</p> <p>(3) 臨時職員への処遇と研修について問う。</p>
<p>4 学童クラブの管理運営について</p>	<p>(1) 指定管理者に移行して1年の結果をどう評価しているのか。</p> <p>(2) 子どもと保護者の立場から改善を図るべき点について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について問う</p>	<p>(1) 「河野談話」を見直すと安倍首相が発言したことが内外から厳しい反発を呼んでいるが、市長はこの問題についてどのように認識しているか。</p> <p>(2) 巨大事業を推進する一方で、県民の暮らしにかかわる一人当たりの民生費、老人福祉費、児童福祉費が全国最低クラスの森田県政4年間をどう評価しているのか。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 小中学校併設校建設計画について</p> <p>ア 過去最大の大型事業となることについて市民的合意が得られたと認識しているのか。</p> <p>イ 最大1,500人50クラスとした根拠について問う。</p> <p>ウ 学校の適正規模や児童・生徒の増加に柔軟に対応する施設規模と機能に見直すべきではないか。</p>
<p>3 放射能対策について</p>	<p>(1) 除染はどこまで進んでいるか、今後の課題は何か。また、国が発注した除染事業で「手抜き」が問題になっているが、流山市では適正に行われているのか。</p> <p>(2) 市民不安を解消するためにも、健康被害に対する取り組みを拡大・強化すべきではないか。</p> <p>(3) 放射性焼却灰の手賀沼終末処理場への一時保管がおこなわれているが、地元自治体である我孫子市や周辺住民との合意についてどう認識しているのか。</p>
<p>4 再生可能エネルギーをいかすまちづくりについて</p>	<p>(1) 住民・地元事業者、行政の協力による再生可能エネルギー推進基本計画を策定すべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 投票所の改善について</p>	<p>(1) 若い人を中心に、投票所の環境改善を願う声があり、応えるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 昨年の衆議院議員選挙時、流山おおたかの森駅周辺地域の住民から「投票所が狭すぎる」等の苦情を数多く聞いている。現状認識と改善策について問う。</p>
<p>2 市民総合体育館建替え計画を含めた運動公園再整備計画について</p>	<p>(1) 総事業費について</p> <p>(2) 市民総合体育館建替え規模を正当化するためには、運営コストの精査や稼働率等、科学的根拠を持って明確にしてこそ行政の説明責任が果たせると考えるがどうか。</p>
<p>3 教育行政について</p>	<p>(1) いじめや体罰が社会問題となっているが、本市の現状、対応等について教育長に問う。</p> <p>(2) 柔道必修化に伴い1年が経過するが、事故や安全対策はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 小中学校への学校配当予算は5年間で約2千万円も削減されてきた。来年度以降は計画的に増額させるとともに、必要な備品整備や年2回程度は専門事業者による清掃を導入させる等、環境整備の充実に力を注ぐべきだがどうか。</p> <p>(4) 小中一貫教育に関わる諸課題について問う。</p> <p>(5) 小中学校併設校計画について</p>

質問事項	要 旨
1 社会保障の給付抑制・予算削減の政府の方針について	(1) 市民生活と福祉行政への影響をとらえ、市民の防波堤として「福祉を後退させない」市政について、市長の政治姿勢を問う。
2 生活保護基準引き下げと法改悪について	<p>(1) 生活保護基準以下の生活をしている世帯のうち、1割程度しか生活保護を受けていない。低い利用率こそ引き上げることが必要ではないか。</p> <p>(2) 生活保護基準引き下げに伴い影響が及ぶ他制度とその対象者数の把握及びその対応について問う。(最低賃金、就学援助、国民健康保険・介護保険の保険料減免、住民税非課税限度額、保育料など他制度)</p> <p>(3) 法外援護の拡充と周知徹底について</p> <p>ア 法外援護を拡充し、手続きを知らせることが重要ではないか。</p> <p>イ 下水道料金は全額免除となっているが、水道料金も全額免除にしてはどうか。</p>
3 教育行政について	<p>(1) 就学援助について</p> <p>ア 「自分の家が該当するかわからない」との声が上がっているが、使いやすい制度への改善を問う。</p> <p>イ 就学援助を認めながら、支給時期が学期末3回では制度が生きない。毎月支給に変えてはどうか。</p> <p>ウ 入学準備金を必要な時期に支給し、修学旅行費は実施前に支給することで制度が生きるが、改善が必要ではないか。</p> <p>エ 文部科学省は生活保護基準引き下げで「影響が生じないようにする」と対応を検討しているが、流山市での対応を問う。</p> <p>オ 生徒会費、PTA会費、クラブ活動費が支給項目となり、全国や千葉県内でも広がっているが、流山市の実施について問う。</p> <p>(2) 特別支援学級について問う。</p> <p>ア 向小金小学校や東小学校の保護者から、東部中学校に特別支援学級設置の要望があるが、開設を急ぐべきではないか。</p>
4 東部地域のまちづくりについて	(1) 東小学校前通学路道路拡幅整備事業の概要について問う。

質問事項	要 旨
<p>1 スギ花粉症に対する現状と対策について</p>	<p>(1)スギ花粉症による医療費などの財政面への影響及び身体への影響について問う。</p> <p>(2)杉の植林を行う場合に無花粉スギなどに変えるなどスギ花粉症の抜本的な対策について問う。</p>
<p>2 公共下水道について</p>	<p>(1) 向小金地域の公共下水道の進捗状況について問う。</p> <p>(2) 公共下水道は、国費に大きく依存している事業であるが、ここ2年ほど要望額に対し国庫補助金が約2割削減される状況が続いており、南柏本州団地と八木南団地の整備時期を再検討していると聞いているが、今回の緊急経済対策の中で計画の検討はあったのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢者問題について</p> <p>2 市民と行政の連携、協働について</p>	<p>(1) これからの高齢化問題は自助、共助なくして解決策はないと考える。同時に、地域での自助、共助を促進するためには、行政の側面からの支援（他市の先進事例の紹介、研修、啓発活動、情報提供等）も欠くことはできない。当局は高齢者問題において自助、共助の在り方をどのように考え、どのように促進、支援するのか。</p> <p>(1) 平成17年、パートナーシップの実現に向けてと題して、「市民と行政の協働まちづくりのための指針」が策定された。その指針はどのように実現されているのか、以下について問う。</p> <p>ア 「行政の役割」について</p> <p>イ 「期待される効果」について</p> <p>ウ 「協働まちづくり推進のための制度や仕組みづくり」について</p>

質問事項	要 旨
1 教育行政について	<p>(1) 市内小中学校の部活動の活動状況や児童生徒の加入状況について問う。</p> <p>(2) 「学ぶ子にこたえる、流山市。」を進めていく中で、今後の部活動の在り方について問う。</p>
2 市民参加について	<p>(1) 市民の声が複雑・多様化する中で、当局は市民の声をどうとらえているのか。</p> <p>(2) 自治体におけるマネジメントサイクルの中で政策立案時の市民参加（パブリックコメントなど）については苦勞している様子が伺える。また、政策執行後については市民からの声が比較的多くなる傾向があると考え。そこで市政改善提案制度の導入の可能性について問う。</p>
3 震災対策について	<p>(1) 耐震補強を進めるにあたり幹線道路・緊急時輸送道路確保の観点から、道路沿線のマンション等について積極的に耐震化を促すべきだと考えるが、当局の見解を問う。</p>
4 地域の諸課題について	<p>(1) 市道東深井・市野谷 2 号幹線道路の安全対策について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 防災対策について	<p>(1) 災害時に、最寄りの指定避難場所に速やかに誘導するための指定避難場所誘導案内板の設置について、平成23年第2回定例会、平成24年第1回定例会において一般質問してきたが、その後の進捗状況について問う。</p>
2 高齢者対策について	<p>(1) 現在流山市において、認知症サポーター養成講座を行うなど、認知症の正しい知識の普及に取り組んでいるが、今後更に増加すると思われる認知症の対策としてどのような取り組みを考えているか問う。</p> <p>(2) 認知症予防対策として、音楽療法を積極的に取り入れてはどうか、当局の見解を問う。</p> <p>(3) 年々高齢者施設の需要が高まっているが、流山市内の高齢者施設の安全性、特に、火災予防のためのスプリンクラー設置の状況等について問う。</p> <p>(4) 高齢者の健康増進の一貫として、市内の公園に、高齢者向けの健康遊具を設置してはどうか、当局の見解を問う。</p>
3 交通安全対策について	<p>(1) 平成24年第2回定例会で一般質問した、流山おおたかの森駅西口、つくばエクスプレス高架下の信号機設置について、その後の進捗状況について問う。</p> <p>(2) 中駒木線、豊四季霊園前の信号を流山おおたかの森駅東口に入る為に右折する場合、おおたかの森ショッピングセンター側から直進してくる車の交通量が増加していることから、なかなか右折できない状況にある。右折信号を設置すべきと思うが、当局の見解を問う。</p>
4 市内の幼稚園、保育園、小・中学校における熱中症対策について	<p>(1) 平成23年第4回定例会で一般質問した熱中症予防対策としての「ミスト・シャワー」の設置について、その後の進捗状況について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市民参加のあり方について市長の見解を問う</p>	<p>(1) 小中学校併設校建設については、公聴会で反対意見が提出されている。議員有志により修正可決された市民参加条例に規定された公聴会の結果をどのように受け止めているのか。</p> <p>(2) 小中学校併設校建設と市民総合体育館の建て替えについて早急に市民アンケート調査を行うべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 自治基本条例や受動喫煙防止条例、市民参加条例など市長の肝いりで議会に上程された条例は議決までのプロセスにおいて議会が混乱した。同じ轍を踏まないために市民投票条例策定までのプロセスをどのようにされるのかを問う。</p>
<p>2 子育て支援策について</p>	<p>(1) 松戸市が新年度の事業で県内初の夜間保育所の設置や子供の医療費の助成制度を中学3年生まで拡充する。「子育てにやさしいまちづくり」を標榜してきた本市はすでに近隣市に追い越された感がある。子育て支援策の更なる充実について市の方針を問う。</p> <p>ア 子ども医療費を中学3年生まで通院費の助成を拡大すべきと思うがどうか。</p> <p>イ 新設の保育所は、保育士の確保に苦勞していると聞いている。本市の事業として保育士資格取得助成制度を設置し独自に保育士を育成し、市内保育所に配置すべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 木地区の保留区画整理地を長谷工コーポ、住友商事、ヤオコーの3社からなる連合体が落札し、すでに入所申込みスーパーとともに戸建住宅や高層マンションの建設が予定されていると聞いている。本年4月には、「えどがわ南流山保育園」がオープンするが人口の急激な増加でまた、待機児童が発生することが予想される。保育所や学童保育をマンションやスーパーに併設することについて3社からなる連合体と協議する考えはないか。</p>
<p>3 生涯学習について</p>	<p>(1) 南流山センターは、南部地域の生涯学習の拠点である。南流山センター内の図書館南流山分館は、団塊の世代の退職の増加とともに平日も利用者で一杯である。また、会議室や講座室も利用率が高い。そこで、図書館を新たに別の場所に建設し、空いたスペースに会議室等多目的に使える部屋を増設すべきと思うがどうか。</p>
<p>4 環境行政について</p>	<p>(1) PM2.5が九州を中心とした西日本に中国から飛来し健康被害が懸念されている。今後、偏西風に乗って関東地方にも影響がでることが予想されているが国・県・近隣自治体と連携して観測データを共有し市民に公開すべきと思うがどうか。</p>